

平成22年度 家庭総合 のシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	家庭総合	単位数	2	履修学年・区分	1学年(1・2学年各2単位の分割履修)
使用する教科書	新家庭総合～ともに生きる 暮らしをつくる～ (教育図書)				
副教材等	なし				

2 学習目標

- ・身近な生活の中から課題を見出し, 解決に向けて主体的に取り組める能力を養います。
- ・家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけます。

3 学習方法

- ①教科書や補助資料から基礎的知識を学ぶ。
- ②調理実習や被服製作実習を通し, 基礎的技術を身につける。
- ③習得した基礎的な知識・技術を実験や体験を通し, 科学的・理論的に学ぶ。
- ④視聴覚教材や統計資料・新聞等から身近な課題を考える。

4 学習計画

学期	学習内容(单元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	「家庭総合」の学習について (ホームプロジェクト) 《单元》暮らしのなかの「衣」 ①衣生活を考えよう ②衣服の材料を知ろう ③衣服の選択と手入れ ④これからの衣生活と環境 ⑤衣服をつくろう (期末考査)	・学習の目標や内容, 具体的な学習方法を理解します。 《ねらい》 衣服の機能や着装, 材料などの基礎的な知識・技術の習得を目指し, 豊かな衣生活を営む。 《具体的活動》 ①講義・ディベート ②講義・燃焼実験 ③講義・調べ学習 カラーコーディネート実習 ④講義・ディベート ⑤エプロン製作実習	①衣生活を自分のこととして取り組むことができたか。 ②衣服の材料に関心を持ち, 特徴を理解できたか。 ③衣服の関心を衣生活全体の問題として取り組み, 衣服の選択と手入れの方法を具体的に理解できたか。 ④衣生活での環境問題に関心を持ち, 衣生活と環境の関係を生活で役立てようとしたか。 ⑤被服製作に意欲的に取り組み, 自分らしい表現を作品に表すことができたか。また, 基本的縫製技術を身につけられたか。 ・ワークノート ・実験記録
第2学期	《单元》暮らしのなかの「住」 ①住まいについて考えよう ②住空間をデザインしよう ③快適な住まいについて考えよう ④これからの住生活と環境 (期末考査)	《ねらい》 住居に関する事象を科学的に理解させるとともに, 住生活の文化への関心, 必要な技術の習得を目指し, 豊かな住生活を営む。 《具体的活動》 ①講義 ②実習 ③ディベート	・作品 ・実習記録(自己評価カード) ①住まいの機能や気候との関係, 歴史を理解できたか。 ②デザインを考え, 実生活に即した形で表現できたか。 ③快適な住まいとは何かを理解し, 快適さの追求を生活に生かそうとしたか。 ④環境に配慮した住まいの在り方を考えることに意欲的に取り組めたか。 ・ワークノート ・実習記録
第3学期	《单元》暮らしのなかの「消費」 ①私たちの生活と経済を知ろう ②家計から生活を考えよう ③消費者としての生活を知ろう	《ねらい》 家庭の経済生活や消費者の権利・責任を理解させるとともに, 現代の消費生活の課題を認識して, 環境に配慮した適切な意志決定に基づいた消費行動をする態度を育成する。	①家庭の経済と国民経済の関係を理解できたか。 ②収支のバランスをみて家計を管理できたか。 ③消費生活の問題点を指摘し, お金に流されない豊かな消費生活に

期	④自立した消費者になろう (期末考査) まとめと反省	《具体的活動》 ①講義 ②講義 ③ディベート ④グループでの調べ学習 《ねらい》 一年間の学習を振り返り、実生活に生かそうとする態度を育成する。また、2年生の学習の目標を決める。 《具体的活動》 ①一年間の反省・感想記入	活かそうとしたか。 ④消費者問題に関心を持ち、消費者の権利と責任を理解できたか。 ・ワークノート ・VTR視聴記録 ①一年間の学習を反省することで、次年度の目標を立てることができたか。 ・作文 ・自己評価カード
---	--	--	---

5 学習評価

(1) 評価の観点及び内容について

以下に示す四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

《評価の観点及び内容》

- 1 「関心・意欲・態度」 家庭や地域の生活に関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。
- 2 「思考・判断」 家庭や地域の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけているか。
- 3 「技能・表現」 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。
- 4 「知識・理解」 家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。

(2) 評価方法について

具体的な評価方法として以下の三つの項目を数値化し、五段階で評価します。

- 1 「定期考査」 各学期末、計3回実施。(70%)
- 2 「提出物」 ノート、自己評価カード、作品、(20%)
- 3 「授業態度」 主体的・意欲的な取り組みが見られたか。(10%)